

中相原町内会説明会 会議要旨

開催日時：2013年3月29日(金) 19時00分～20時30分

開催場所：中相原会館

参加者：約20名

《次第》

1. 新たな「ごみの資源化施設」について
2. 建設予定地の選定について
* 「相原エリア」（相原町3881番地）検討概要の説明
3. ごみの減量化・資源化協力についてのPR
これまでの懇談会で頂いた質問・意見の概要説明
4. 質疑応答 19：30～

〈配布資料〉

資料1：新たな「ごみの資源化施設」の建設地周辺にお住まいの皆さんと話し合いを進めます。

資料2：ごみ資源化施設建設NEWS (vol.4)

資料3：ごみ資源化施設建設NEWS (vol.5)

質疑応答

(市民)

今回も含め、今までの説明会の議事録はどこかで確認することができるのか。

(町田市)

今後、議事録は地区ごとにまとめ、町内会への配布やホームページ等で確認できるように検討をしております。

(市民)

相原に建設するという事は決定なのか。

(町田市)

2月6日に町田市として、相原地区を建設地に選定したため、施設建設を進めたいと考えております。

(市民)

相原地区に焼却施設ができるということか。

(町田市)

焼却施設はできません。

(市民)

資源ごみ処理施設の内容として「貯留場所」とあるが、貯留の期間とその後の処理はどうするのか。

(町田市)

集めたごみについては、基本的には2～3日の間に資源化施設へ搬入します。ただし、蛍光管や乾電池などについては、資源化するのに時間がかかるため、搬出後、資源化するまでに3～4日程度かかります。

(市民)

収集車の台数はどのくらいになるのか。

(町田市)

10台程度と想定しております。詳細については、今後検討していきます。

(市民)

減量等推進審議会には、相原地区の住民は入っているのか。

(町田市)

相原地区の住民は参加しておりません。ただし、市民公募という形で募集はいたしました。

(市民)

どのエリアから収集するのか。

(町田市)

詳細については、まだ決まっておりません。今度、検討していきます。

(市民)

建設地周辺の道路はとても狭いため、建設地として選ぶのはナンセンスではないか。また、収集する際に町田街道を通ると思うが、町田街道にはガードレールが少なく危険である。これらを踏まえ、道路整備やガードレールの設置等は検討しているのか。

(町田市)

そのようなご意見を踏まえ、今後の協議会で検討していきます。

(市民)

資源ごみ処理施設の分散理由について、「移動距離の削減」とあるが、相原地区は遠いため移動距離の削減にはならないのではないか。

(町田市)

施設を分散することで、町田市の端から端まで収集車が移動しなくて済みますので、移動距離は削減できると考えております。

(市民)

資源ごみ処理施設の分散理由について、「施設の代替性と補完性が備えられること」と記載があるが、どういうことか。

(町田市)

施設にトラブルがあり、一時的に使用できなくなった場合に、同じ資源ごみ処理施設が複数あれば代わりに処理ができるという意味で、代替性と補完性を備えることと記載しております。

(市民)

資源ごみ処理施設の分散理由について、「地域住民のごみの資源化に関する意識の向上を促すための拠点等とするため」とあるが、具体的にどういうことか。

(町田市)

ごみの処理に関しては下小山田地域に一極集中だったため、その他の地域の方々のごみ問題に対して、意識があまり高くないというのが現状です。しかし、ごみ問題は町田市民全体で考えていくべき問題であるため、各地区に施設を分散することで、各地区の住民の方々の意識を高めたいという考えからこのように記載をしました。

(市民)

相原地区の建設地は私有地ということだが、本日の説明を聞くと、選定にあたり土地の所有者から働きかけがあったように聞こえるが、どうなのか。

(町田市)

候補地の選定については、まず、市有地を優先に考え、第1次選定として法的制約条件や土地利用計画等に基づき選定を行い、次に、第2次選定として施設建設に必要な面積要件等を踏まえ選定を行いました。第2次選定が終了した段階で民有地も含めて考えることとし、第1次選定及び第2次選定の条件を考慮して、町田市のほうから土地所有者に働きかけをしました。その際に、今回の相原地区の建設地の所有者の方から申し出があったため、候補地の1つとして含めることとし、その後の選定を進めました。

(市民)

環境影響評価を実施するということだが、どのくらいの期間実施し、季節はいつごろ行うのか。

(町田市)

2～3年かけて実施し、季節は問わず、春夏秋冬行います。

(市民)

協議会には学識経験者を入れるということだが、誰を入れるか決まっているのか。

(町田市)

まだ決まっておりません。今後、検討します。

(市民)

施設に収集される容器包装プラスチックごみは事前に洗浄されるのか。

(町田市)

容器包装プラスチックについては事前にご家庭で洗浄していただき、専用の指定収集袋に入れていただきたいと思いますと考えております。

(市民)

収集車の移動距離はどの程度になるのか。

(町田市)

収集エリアが決まっていませんので、収集車の移動距離も未定です。

(市民)

東海地震についての対策は考えているのか。

(町田市)

警察署、病院等の重要施設と同程度の強度で設計し、倒壊しない施設を建設します。

(市民)

施設の稼働時間が知りたい。

(町田市)

詳細は未定ですが、平日の9時から17時まで稼働させ、それ以外の時間は停止させる等を検討しています。

(市民)

プラスチック圧縮梱包施設では圧縮する機械を何台設置するのか。

(町田市)

2台程度を想定しています。

(市民)

プラスチック圧縮梱包をする際に発生するVOCの除去方法が知りたい。

(町田市)

主に活性炭を使用し除去します。この方法により、VOCを規制値以下に抑えることができます。

(市民)

近隣自治体の資源ごみ処理の状況について知りたい。

(町田市)

多摩市はエコプラザ多摩という施設1箇所で行っており、八王子市についても1箇所で行っています。相模原市については2箇所程度に分散して行っています。

(市民)

ごみ40%削減の具体的な方法については検討しているのか。

(町田市)

- ・生ごみ処理機の貸出し。
- ・補助金制度の活用による生ごみ処理機の普及。
- ・ご家庭での生ごみの水切り。
- ・町内会の廃棄物減量等推進委員への働きかけ。
- ・エコクッキング等の推進

以上のような方法を考えております。

(市民)

新たな施設のごみ処理量は、40%のごみ削減を達成した場合の処理量として設定しているのか。

(町田市)

その通りです。そのためにもごみ削減の啓発活動を強めていきます。

(市民)

市は、建設地近隣の道が狭いことも考慮し検討していくと言っているが、ごみ処理施設と道路では、管理している課が異なると思われる。その場合、課をまたいで検討できる体制は整えられるのか。

(町田市)

現在、各建設地の協議会とは別に、新たなごみ資源化施設に関する「周辺まちづくり協議会」という組織を立ち上げております。この組織には環境資源部だけでなく、建設部や都市づくり部などの関係部署の担当者も所属しており、連携できる体制を整えております。

(市民)

以前から、相原地区は道が狭いということを市に訴えてきたが、全く改善せず、ごみ処理施設などの迷惑施設ばかりができています。施設建設にあたり、このようなことは考慮してくれるのか。

(町田市)

そのような意見を取り入れるために、各建設地に協議会を組織することとしました。住民の方々の意見を反映できるような協議会の運営をしたいと考えております。

(市民)

相原地区に建設することが決定したかのような言い方はやめてもらいたい。また、相原地区では、小学生の通学路が分断されている場所が数箇所あり、以前から市に危険性を訴えてきたが、改善されない。施設建設にあたり、このようなことは考慮してくれるのか。

(町田市)

そのような意見を踏まえ、今後の協議会で検討していきます。

(市民)

施設内容に有害ごみ貯留場所とあるが、有害ごみは資源ごみではないので今回の施設に含める必要はないのではないか。

(町田市)

有害ごみとは乾電池や蛍光管などですが、これらは適正に処理を行えばリサイクルできるため、今回の施設に貯留することとしております。

(市民)

町田市でCNG車は何台所有しているのか。

(町田市)

収集車のうちCNG車は10台程度であり、その他に15台程度所有しているので、合計25台程です。

(市民)

委託業者の収集車は何台あるのか。

(町田市)

委託業者の台数については資料がないため不明です。次回の堺市民センターでの説明会までに調べておきます。

相原エリア説明会 会議要旨

開催日時：2013年4月2日(火) 19時00分～20時30分

開催場所：堺市民センター

参加者：35名

対象エリア（参加人数）

中村町会（3） 仲町会（7） 陽田町会（4） 元橋町会（5） 坂下町会（6） 境町会（1）
丸山町会（6） 丸山団地自治会（3）

《次第》

1. 新たな「ごみの資源化施設」について
2. 建設予定地の選定について
* 「相原エリア」（相原町3881番地）検討概要の説明
3. ごみの減量化・資源化協力についてのPR
これまでの懇談会で頂いた質問・意見の概要説明
4. 質疑応答 19：38～

〈配布資料〉

資料1：新たな「ごみの資源化施設」の建設地周辺にお住まいの皆さんと話し合いを進めます。

資料2：ごみ資源化施設建設NEWS（vol.4）

資料3：ごみ資源化施設建設NEWS（vol.5）

質疑応答

（市民）丸山団地

ペットボトルの分別は手選別しているのか？

（町田市）

キャップやラベルの取り外しや飲み残し・異物の除去のために手選別しています。

（市民）丸山団地

CNGのCは何の略か？

（町田市）

Compressed natural gasの略でCは圧縮天然ガスのことです。

バイオガス化施設から天然ガススタンドまでは非常に圧力は低く爆発等の恐れはありません。自動車へ注入する天然ガススタンドの施設内で圧を上げます。

（市民）中村町会

相原エリアのゴミの処理量、1日あたりの収集車の台数はどのくらいか。

（町田市）

プラスチック圧縮梱包施設は3箇所の合計が26.4tでそのうち約5tがリレーセンターみなみで処理し、残りの21.4tを等分にした約10t程度とカン選別処理施設が3t程

度、ビン選別処理施設10t程度、ペットボトル圧縮梱包施設が3t程度を想定しており、詳細については収集エリア等の検討後になります。

収集車の台数についてはまだシミュレーションの段階なので正確な数字ではありませんが、プラスチック容器包装を分別していない現在の段階で、相原地区については最大で17台走行しています。この中には、古紙収集車台数も入っていますが、古紙は紙問屋に直接運ばれて資源化されているので、新しい資源化施設にも来ません。走行車両の最少台数は8台です。容器包装プラスチックを新たに資源化したとして、最大の17台を超えない程度を想定しています。

(市民) 坂下町会

貯留施設とあるが、貯留の期間は一時的なのか永久的なものなのか？10年以上前の話だが、町田市では有害ごみの乾電池を貯めていたと聞いたことがある。

(町田市)

一時的な仮置きです。集めたごみについては、連続的に資源化施設へ搬出します。割れていない蛍光灯は関東近郊の資源化できる業者に委託しますが、割れた蛍光灯や乾電池については、北海道の再資源化業者に委託し処理しています。保管に際して、例えばドラム缶等に入れ液体やガスが外部に漏れないように仮置きします。施設はそれほど広い敷地ではないので、長期間保管しません。

(市民) 丸山団地

高効率発電17%とは何を基準にしているのか？ガス発電も含むのか？

(町田市)

焼却施設からの熱回収のみです。現在稼働中の施設は、発電機の効率が良くないため7~8%程度しかありません。高効率発電にすると国から1/2の交付金があります。

(市民) 元橋町会

新たな施設では他市のゴミも受け入れるのか？また、隣の相模原市などとの分担については検討しないのか？

(町田市)

町田市のごみだけです。市内で発生するごみについては、原則として自区内処理することと法律で定められています。広域化に関しては、収集車のアクセスや収集効率の面、そして住民の感情的な問題から難しいと考えています。

町田市は多摩市・八王子市と共にニュータウン環境組合で多摩市域に清掃工場を運営しており、トラブル時の補完性・代替性について協定を結んでおります。

(市民) 仲町会

収集車以外にも作業する人の通勤車や資源化施設への搬出入車等、交通量は増え町田街道の渋滞がひどくなる。大戸踏切と町田街道の立体化の早期実現をお願いしたい。子ども会で実施している地域資源回収への奨励金は新しい施設ができてもしっかり続けて欲しい。

(町田市)

立体交差については今年の3月に都市計画決定し、今後さらに具体的な事業計画等について説明会を別途実施する予定です。

奨励金については当面継続する予定であります。

(市民)

プラスチック圧縮梱包処理施設の残さ、発生したガス、排水の処理はどうするのか？それによる影響はないのか？

(町田市)

容器包装プラスチックからの揮発性有機化合物は活性炭で吸着処理や、オゾン処理等で基準以下にします。

水は、収集したペットボトルが汚れていたときに洗浄する程度で、大量に使用することはありませんが、直接川に流すようなことはせず、一箇所に集めて下水道に排出します。敷地内に降った雨水も施設内を通過しないよう分離して処理します。

キャップやラベル等の残さは町田リサイクル文化センターに運び処理します。基準を超えれば施設の操業を停止しなくてはならないので処理については徹底します。

(市民) 陽田町会

プラスチックごみというのは必ず表示があるものか？表示のないごみはどう出せばよいのか？また発泡スチロールはどう出せばよいのか？

生ゴミ処理機を利用しているが壊れてしまった。新しい生ゴミ処理機については補助金が出るのか？

(町田市)

基本的には表示されていますが、表示のないものは燃やせるゴミに出してください。現在、発泡スチロールの処理方法は細かく砕いて燃やせるゴミに出してもらっていますが、この件に関しては今後、検討していきます。

生ゴミ処理機の補助金については、要綱上は5年使用するよう記載があるため一度3R推進課にお電話いただきご相談願います。

(市民) 坂下町会

大戸踏切の立体が間に合わなかったら、現在整備中のトンネル側を使うというのはいかないか？町田街道の渋滞回避になるのではないか？

(町田市)

収集エリアの検討、台数削減方法の検討等を進め、また施設周辺の方々との連絡会との検討、他市との調整の中で貴重なご意見として今後検討していきます。また広域的な視点で検討を行う組織としてまちづくり協議会も設置しているのでそこでも他のごみ処理施設と合わせて検討していきます。

(市民) 丸山団地

貯留場所に搬出量が示されていないがどうということか？

(町田市)

連続的に搬出する一時的な貯留施設で、現時点では搬出量の値は明示できません。収集エリアや具体的な施設規模の検討後、搬出量等についてお伝えしていきます。

(市民) 元橋町会

住民の利便性の向上を考えた施設の検討はするのか？

意見は誰に言えばよいのか？^{※1}

(町田市)

今後皆様のご意見を頂きながら連絡会で検討して行く予定です。

今回で説明会が最後ではありませんので、これからもこのような会でご意見をお寄せください。

(市民) 丸山団地

トンネルの手前から施設への進入路を検討しているようだが、現在障害となるようなものは何があるのか？

(町田市)

現在は草地で障害となるような物はありませんが、市の所有ではないので今後土地利用に関して地権者さんとの話し合いが必要となります。

(市民)

新しい施設に直接持ち込みはできるのか？

(町田市)

先ほど頂いた意見のように通行車両の問題と合わせて検討してまいります。

【補足説明】 プラスチック有料袋の検討・地区連絡会設置の予定について

※1. 説明会終了後、「地域の高齢化対策として大戸←→橋本のバスを検討して欲しい。」とのご意見を承った。

相原町大戸町内会説明会 会議要旨

開催日時：2013年5月15日(水) 19時00分～20時30分

開催場所：大戸公会堂

参加者：30名

《次第》

1. 新たな「ごみの資源化施設」について
2. 建設予定地の選定について
 - * 「相原エリア」（相原町3881番地）検討概要の説明
3. ごみの減量化・資源化協力についてのPR
これまでの懇談会で頂いた質問・意見の概要説明
4. 質疑応答 19：30～

〈配布資料〉

資料1：新たな「ごみの資源化施設」の建設地周辺にお住まいの皆さんと話し合いを進めます。

資料2：ごみ資源化施設建設NEWS（vol.4）

資料3：ごみ資源化施設建設NEWS（vol.5）

質疑応答

（市民）

建設地について、どこを入り口とする予定か。

（町田市）

詳細については決定していませんが、現段階では、町田街道から家政学園入り口の交差点を曲がり、トンネルの手前付近を入り口にする予定です。

（市民）

町田市では、過去に廃プラスチック処理施設建設の計画が失敗しているが、その原因は何か。また、今回は過去の失敗を踏まえて計画を進めているのか。

（町田市）

過去の廃プラスチック処理施設計画は行政が主導で行い、住民の方々への説明が事後報告になってしまったことが失敗の原因です。今回の計画では、過去の失敗を踏まえ、計画段階から住民の方々立会いのもとプラスチック圧縮実験を行うとともに、市民委員を交えた施設整備の検討委員会を組織し、市民意見交換会を行うなど、住民の方々と一緒に計画を進めてきております。

（市民）

相原エリアに資源ごみ処理施設を建設するにあたり、町田市として、どのような点に留意すべきと考えているのか。

(町田市)

収集車が増加するため、収集ルートや収集エリア等を検討し、渋滞の原因にならないよう留意しなければならないと考えております。また、相原エリアには通学路もあるため、歩道にガードレールを設置するなど、お子様の安全についても留意して計画を進めます。

(市民)

現在、計画している資源ごみ処理施設の処理規模では、町田市のごみを処理しきれないのではないかと。

(町田市)

計画している処理規模で、問題はないと考えております。

(市民)

建設用地の取得について、地権者との交渉はどの程度進んでいるのか。

(町田市)

建設地の地権者の方は6名おり、そのうち1名の地権者の方と、土地の測量と地質調査の実施について書面で約束をした段階です。残りの5名の方々に対しても、測量と地質調査をお願いしている段階です。

(市民)

過去の廃プラスチック処理施設計画の失敗の原因は、行政主導で計画を進めたためであり、今回はその失敗も踏まえて計画を進めているということだが、失敗の原因は本当にそれだけか。相原地区に建設を進めた後で、実は他にも失敗の原因があったということにはならないか。

(町田市)

先ほどの説明のとおり、過去の計画の失敗原因は行政主導で計画を進め、住民の方々への説明が事後報告になってしまったことにあります。加えて説明いたしますと、過去の計画では、周辺住民の方々に計画内容が誤って伝わってしまっており、廃プラスチック処理施設でごみを焼却すると認識されておりました。実際には、ごみを焼却する計画はありませんでしたが、このように認識されてしまったのも、市の説明が不十分であったためと考えております。このことから、今回は計画段階から市民の方を交えて計画を進めております。なお、相原エリアに建設予定の資源ごみ処理施設では、ごみの焼却は行いません。

(市民)

建設地は地盤が弱いですが、そのことは考慮しているのか。

(町田市)

現在、建設地の地歴を調べており、今後、地盤調査も行う予定です。

(市民)

施設はできるだけ住宅地から離して建設をして欲しい。また、多数の市民はごみ処理施設についての知識はない。設計途中の段階でも、完成予想図を見せるなどの情報提供をするべきである。

(町田市)

施設についてはできるだけ住宅地や学校から離して建設をする予定です。ただし、敷地が限られているため、どの程度離せるかは今後検討します。また、設計中でも、随時、情報提供は行う予定です。今後は、周辺住民の方を交えた地区連絡会を立ち上げ、そのような意見を踏まえて検討し、計画を進めていきます。

(市民)

プラスチックごみの収集に関しては、曜日によって道路の混雑状況が異なると思うが、そのようなことも踏まえ、どのような収集方法を予定しているのか。

(町田市)

詳細についてはまだ決まっておりませんが、曜日ごとの道路の混雑状況は市としてもある程度把握しておりますので、そのことを踏まえ、収集日や収集エリア等の設定を行います。なお、今後の地区連絡会でも検討を行う予定です。

(市民)

資源ごみ処理施設で集めたごみは、最終的にはエコプラザ多摩で処理をするのか。

(町田市)

エコプラザ多摩は多摩市のごみを処理する施設であり、町田市のごみは処理いたしません。

(市民)

資源ごみ処理施設で圧縮梱包をしたプラスチックごみは、最終的にはどのように処理されるのか。

(町田市)

プラスチックごみについては、「容器包装リサイクル法」という法律があり、市ではなく「日本容器リサイクル協会」という財団法人が搬出先のリサイクル業者を選び、リサイクルの処理を任せることになっております。

(市民)

建設地のすぐ近くに学校があるが、建設地の選定にあたり、そのようなことは考慮しなかったのか。工事騒音、振動なども考えると、学校の近くというのは建設地として適していないのではないのか。

(町田市)

選定については、最初は市内全域から検討を始め、検討委員会で3つの選定ステップにより候補地を絞り、その中から市として土地所有・アクセス・分散化の視点で建設地を選びました。最終的に候補地が絞られる中で、もちろん、学校の近くということに懸念の声も上がりました。しかし、大前提として、危険な施設ではなく安全な施設を建設するということがあります。危険な施設であれば、学校の近くに建設することはできませんが、建設予定の施設は安全な施設であるため、十分に説明すれば住民の方々に理解していただけるだろうという結論に至り、選定を行いました。工事騒音、振動の問題については、できる限りの方法を検討し、クリアしていきたいと考えております。また、学校の近くということもあり、安全性の確保はも

ちろんのこと、環境学習の場としても活用したいと考えております。

(市民)

取り付け道路の問題と雨水排水の問題に考慮して今後の計画を進めるべきである。

(町田市)

承りました。

(市民)

施設ができることにより、1日あたりの収集車の台数はどの程度となるのか。

(町田市)

収集エリアがまだ決まっていないため明確な回答はできませんが、1日あたり10台～20台程度を想定しております。

(市民)

圏央道が開通したら、町田街道の交通量に変化があると思われるが、そのようなことも考慮しているのか。

(町田市)

圏央道については、2014年度中に高尾山ICと相模原愛川ICの間が開通すると聞いております。この間が開通することにより中央道と東名高速が連絡し、現在終点となっている高尾山ICの交通量は少なくなると想定されています。加えて、2015年度には新しく相模原ICができるため、さらに交通量は減少することです。また、町田街道の渋滞緩和のため、大戸踏み切りの立体化が都市計画決定されています。

(市民)

大戸踏み切りの立体化は、ごみの資源化施設の稼働開始に間に合うのか。

(町田市)

大戸踏み切りの立体化は、現在、都市計画決定をした段階で順次調整を進めています。また、相模原市でも隣接する道路をアンダーパスで横浜線を通す工事を現在進めており、複数のルート活用を検討に入れる予定としております。

(市民)

環境アセスメントではどのようなことをするのか。自然環境の調査はやらないのか。

(町田市)

施設を建設することで、建設前に比べ、環境にどの程度影響があるのかを調べます。調査項目としては、騒音、排ガス、排水などです。また、野鳥の生息など自然環境についても配慮します。調査期間中には調査内容を周辺住民の方々にもご覧いただき、意見をいただく場も設けます。調査結果は東京都に提出し、改善が必要な項目については改善を行います。

(市民)

環境アセスメントとは、第三者機関に「計画を進めても環境に影響はない」というお墨付きをもらうだけの形式的なものという印象があるが、もし、環境に影響があると指摘された場合は、計画を中止するのか。

(町田市)

環境アセスメントは、方法書、評価書と段階を踏んで公告し、広く意見を取り入れ、すべて手続きを公表して進める仕組みをとっており、形式的なものではありません。そして、環境への影響について指摘された項目については、改善を行います。また、環境アセスメントについても、地区連絡会と連携を図り、実施していきます。

(市民)

概略設計と実施詳細設計は何が違うのか。

(町田市)

環境アセスメントを実施するために、どのような建物を建設するかを決めなくてはならないので、そのために概略設計を行います。一方、実施詳細設計では、環境アセスメントの結果を必要に応じて施設内容に反映させること、設備事業者によって配置する設備の規格が異なるため決定後に設計の変更を行うことなどを行います。

(市民)

地区連絡会の参加人数は決まっているのか。

(町田市)

明確な人数についてはまだ決めておりません。地域の状況等を踏まえ、一番良い参加人数を決めたいと考えておりますが、数十人の方が参加ということではなく、10人以下の参加と想定しております。

(市民)

地区連絡会に参加したい場合は町会長に言えばいいのか。

(町田市)

よろしいと思いますが、あくまで参加者は市で決めるのではなく、地域の住民の方々に決めていただくこととなります。

(市民)

環境アセスメントは、建設にあたっての課題を整理し、事前に考え方を提示することが役目だと思われる。このことについては、市はどのように考えているのか。

(町田市)

建設にあたっての課題については、建設地ごとに異なると思います。地区連絡会を通じ、調査項目についての意見をいただき、検討をしていきたいと考えております。

(市民)

本日の質疑応答の内容を、説明会に来ることのできなかつた人に知らせることはできないか。

(町田市)

質疑応答に関しては議事録を作成し、町内会にお渡しします。また、町田市ホームページにも掲載し、多くの方にご覧いただけるようにします。

(市民)

周辺住民の中には、まだ建設計画を知らない人もいます。もっと多くの住民に周知できるように工夫すべきである。

(町田市)

承りました。

(市民)

地区連絡会は傍聴可能なのか。

(町田市)

傍聴可能です。